

令和元年度 全国学力学習状況調査の結果のお知らせ(中間報告)

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動へのご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度4月に実施しました表記の調査について、文部科学省から結果がまいりましたので下記のとおり分析・考察等をするとともに、本校のこれからの学力向上の取り組みについても発信をいたします。今後も学校と家庭で連携をして児童の学力を高めていく節目となれば幸いに存じます。

記

1 問題の説明

昨年度は、理科も調査対象でしたが、今年度は、国語と算数の2教科が対象となりました。意識調査は、例年通り行われました。また、この数年、教科毎に、A問題とB問題に分かれていました。A問題とは、基礎的・基本的な知識、技能の力を問う調査です。B問題は、基礎的・基本的な知識や技能を生かして解く力、いわゆる対応力、問題解決能力を問う調査です。

今回は、「A問題」「B問題」に分けるのではなく、各教科の中に、基礎基本の能力を問う問題、問題解決能力を問う問題の両方を取り入れて、結果の中にそれぞれの能力が反映される形式となりました。

2 結果の概要と分析

【国語】

分類	区分	平均正答率(%)		
		北町西小	東京都	全国
全体		64	65	63.8
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	71.3	73.1	72.3
	書くこと	52.9	55.4	54.5
	読むこと	78.8	83.0	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.5	55.7	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	49.6	57.2	57.6
	話す・聞く能力	71.3	73.1	72.3
	書く能力	52.9	55.4	54.5
	読む能力	78.8	83.0	81.7
	言語についての知識・理解・技能	57.5	55.7	53.5
問題形式	選択式	77.0	76.7	75.1
	短答式	52.2	51.1	48.7
	記述式	49.6	57.2	57.6

【算数】

分類	区分	平均正答率(%)		
		北町西小	東京都	全国
全体		68	70	66.6
学習指導要領 の領域	数と計算	64.8	66.7	63.2
	量と測定	57.1	57.5	52.9
	図形	76.9	79.0	76.7
	数量関係	71.3	72.2	68.3
評価の観点	数学的な考え方	63.6	65.5	62.2
	数量や図形についての技能	77.8	77.2	73.6
	数量や図形についての知識・理解	67.5	72.7	70.1
問題形式	選択式	74.8	78.1	75.7
	短答式	77.5	76.4	72.8
	記述式	48.4	51.5	47.4

グレーで塗った数値は確かな成果が現れた項目。斜めのゴシック体の数値は今後の課題となる項目。

今回、国語、算数ともに、全国平均を上回ることができました。項目によっては都の平均を上回りました。特に算数は、全項目ほぼ万遍なく、国の平均を上回っています。

これは本校が数年にわたり研究や学習補充教室の積み重ねにより、基礎基本の力を向上させたことの成果であると考えています。

特に、国語の「言語についての知識・理解・技能」、算数の「数量や図形についての技能」については、都の平均も上回っています。また、本校の課題であった「数学的な考え方」については、国の平均を1ポイント以上上回り都の平均にも近づいています。これは、一昨年度から学力アクションの取り組みを始めたことの成果でもであると分析できます。

一方で、国語の「関心・意欲・態度」「書く能力」「記述式」の項目に課題が見られます。これは、いずれも文章を書く問題での正答率の低さによるものです。しかも一般的な作文力ではありません。「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」など、新学習指導要領で必要とされる思考力・表現力であり、対話的な深い学びを基にした書く能力が求められる問題です。算数の記述式の問題においても、「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」という問題の正答率が国の平均を大きく下回りました。

次に、「児童質問紙(意識調査)」から参考となる数値結果をお伝えします。

意識調査の数値と学力調査の数値は比例をしています。以下は、学力(=生きる力)を身に付けるために必要な項目となります

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

いずれの項目も、都や国の数値を上回りました。本校のめざす「すべての児童を我が子のように思う」「すべての児童を学級の宝とする」理念が浸透してきている成果の一端と考えています。また、いじめ防止対策、特に、「予防的な視点に基づくアンケートの実施」「北西小で絶対使ってはならない言葉の徹底」の成果でもと考えています。

将来の夢や目標をもっていますか
学校のきまりを守っていますか
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか

上記3つの項目は、若干であります都や国の平均を下回りました。いずれもこれからの社会を生き抜いていくために必要な力の土台となるものです。これらの能力をどのように育てていくかについては、後述いたします。

授業の時間以外での読書量、図書館などの利用時間はどれくらいですか
読書は好きですか
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

いずれの項目も、都や国の平均を上回りました。読書は言語能力や豊かな心の育成のベースとなる学習であり嬉しい結果です。算数は、学力補充に加え、教員の自作問題や学力選手権など、教師も児童も学習に前向きに取り組むための機会を増やし始めました。その成果の現れでもと考えています。また、本校の児童は、外国語活動での学ぶ意欲が非常に高いとALTや外国語アドバイザーの先生から評価されます。その裏付けとなる結果が現れました。今後も上記項目の数値を高めていくよう努めます。

学級みんなで話し合っ決めて決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習に取り組んでいますか

都や国の平均を下回った項目です。話し合う活動が十分ではないことが如実に現れています。これに着目して授業改善をしていくことが本校の学力向上策のポイントでもであると前向きに捉え、今後の学力向上に向けた取り組み(後述)において具体策を説明いたします。

朝食を毎日食べていますか
家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をしますか
今住んでいる地域の行事に参加していますか
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

この項目も都や国の平均を下回りました。全てがご家庭の協力が欠かせない項目、学校と家庭とが連携していく必要のある項目です。特に、朝食を摂ること、家庭でお子さんとコミュニケーションを取ることは北西小全ての保護者の努力目標として取り組んでいただくようお願いいたします。